

飯山市DX推進計画(改定案)

目次

第1章 はじめに……………3	第4章 取組事項……………16
1-1 計画策定の背景と趣旨	4-1 自治体DX推進計画における重点取組事項
1-2 DX、自治体DXとは	4-2 市の取組事項 (別冊「4-2 市の取組事項 詳細」)
第2章 計画の位置付け、対象期間、現状 ……6	第5章 飯山市DXチャレンジプロジェクト ……19
2-1 本計画の位置付け	5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト
2-2 本計画の対象期間	5-2 取組事項との関連性
2-3 本市が抱える問題の整理と課題の設定	
2-4 本市の基盤整備の状況	第6章 推進体制……………24
第3章 計画の基本方針……………11	6-1 推進体制
3-1 飯山市DX、飯山市DX推進計画とは	6-2 デジタル人材の確保・育成
3-2 基本方針	6-3 民間事業者等との連携
3-3 ロードマップ	(別冊) 4-2 市の取組事項 詳細

令和4年(2022年)10月策定

令和8年(2026年) 月改定

飯 山 市

第1章 はじめに

1-1 計画策定の背景と趣旨

○近年のデジタル技術の急速な進化や、データの多様化・大容量化が進展し、その活用が不可欠となった。また、新型コロナウイルス対応において、地域・組織間で横断的にデータが十分に活用できないことなど様々な問題が明らかとなったことから、こうしたデジタル化の遅れに対して迅速に対処するとともに、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、言わば社会全体のデジタル・トランスフォーメーション(DX)が求められている。

○国においては、こうした認識から「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が令和2年12月25日に閣議決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示された。

○また、このビジョンを実現するため、デジタル社会の構築に向けた取組みを全ての自治体において着実に進めるため、まずは、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められる、として「自治体DX推進計画」を策定した。

○本市では、人口減少・少子高齢化により、防災をはじめとした集落活動の維持が困難になりつつあるなどの問題への対応や、ライフスタイルの多様化に対応した行政サービスへの対応などといった様々な課題に対して、デジタル技術やデータをフル活用し解決を図るため本計画を策定する。

1-2 DX、自治体DXとは

「DX」と「自治体DX」を整理する。

ODX

Digital Transformationの略で、一般的には、「デジタル技術」と「データ」を活用して、既存の業務プロセス等の 改変を行い新たな価値を創出して新たな社会の仕組みに変革すること。

経済産業省が2018年に発表した「DXレポート」から広まり、企業の競争優位性を確立することが始まり。

【経産省の定義】

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

○自治体DX

自治体向けに言い換えると以下になる。

自治体が社会構造(人口減少・少子高齢化など)の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、住民や社会のニーズを基に、行政サービスを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、庁内文化・風土を変革し、人々にとってより良い社会を構築すること。

【補足】デジタル化とDXの違い

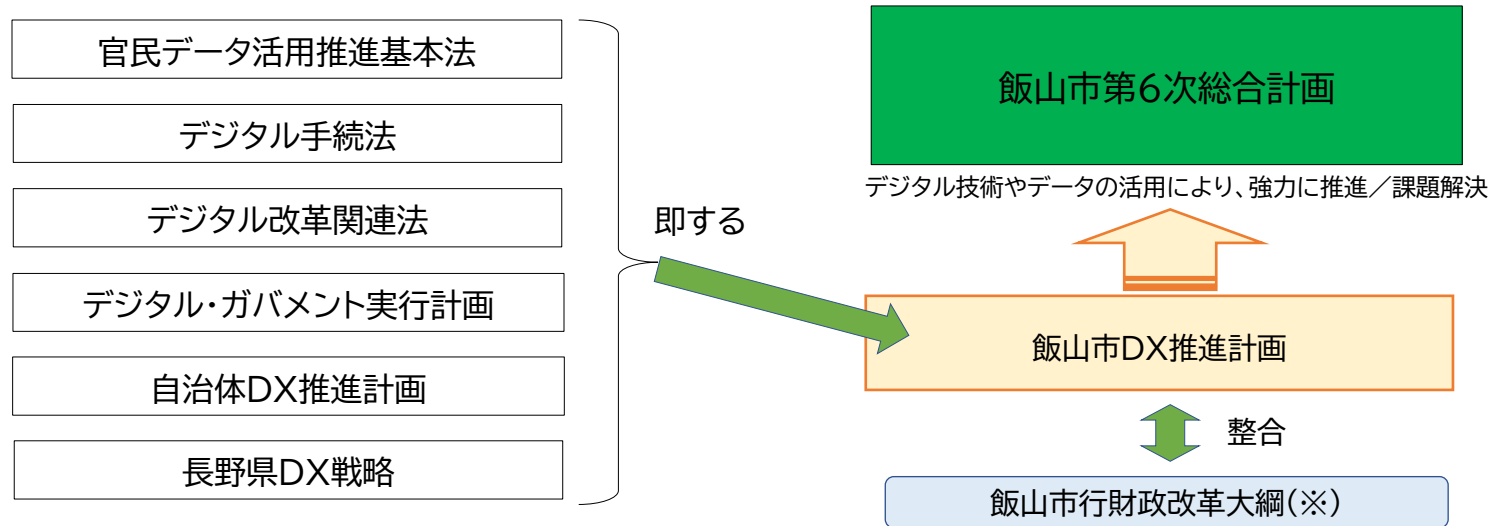
「デジタル化」とは、デジタル技術を用いて、紙を電子化したり、窓口申請をインターネット上でのやりとりに切り替えたりするなど、既存のシステムをデジタル技術を活用して効率化を図ること。「DX」とは「デジタル化」を手段として、ビジネスモデルを変革して新たなサービスを生み出すこと。

つまり、「デジタル化」は手段である一方、「DX」は目的でありゴール(達成)が異なる。

第2章 計画の位置付け、対象期間、現状

2-1 本計画の位置付け

飯山市DX推進計画は、国の関連法や計画及び長野県の戦略に即し、第6次総合計画に掲げられた将来都市像及び将来都市像を実現するための各種施策をデジタル技術やデータの活用により、飯山市行財政改革大綱などと整合を図りつつ、強力に推進・課題解決するための横断的な計画として位置付ける。



(※)飯山市行財政改革大綱とは、飯山市の未来に向けた健全な自治体経営の実現と後期基本計画の着実な推進を図るため、限られた資源(財源、人材、市民との協働)で最大限の効果を生み出すための行財政改革に係る取組を定めた計画

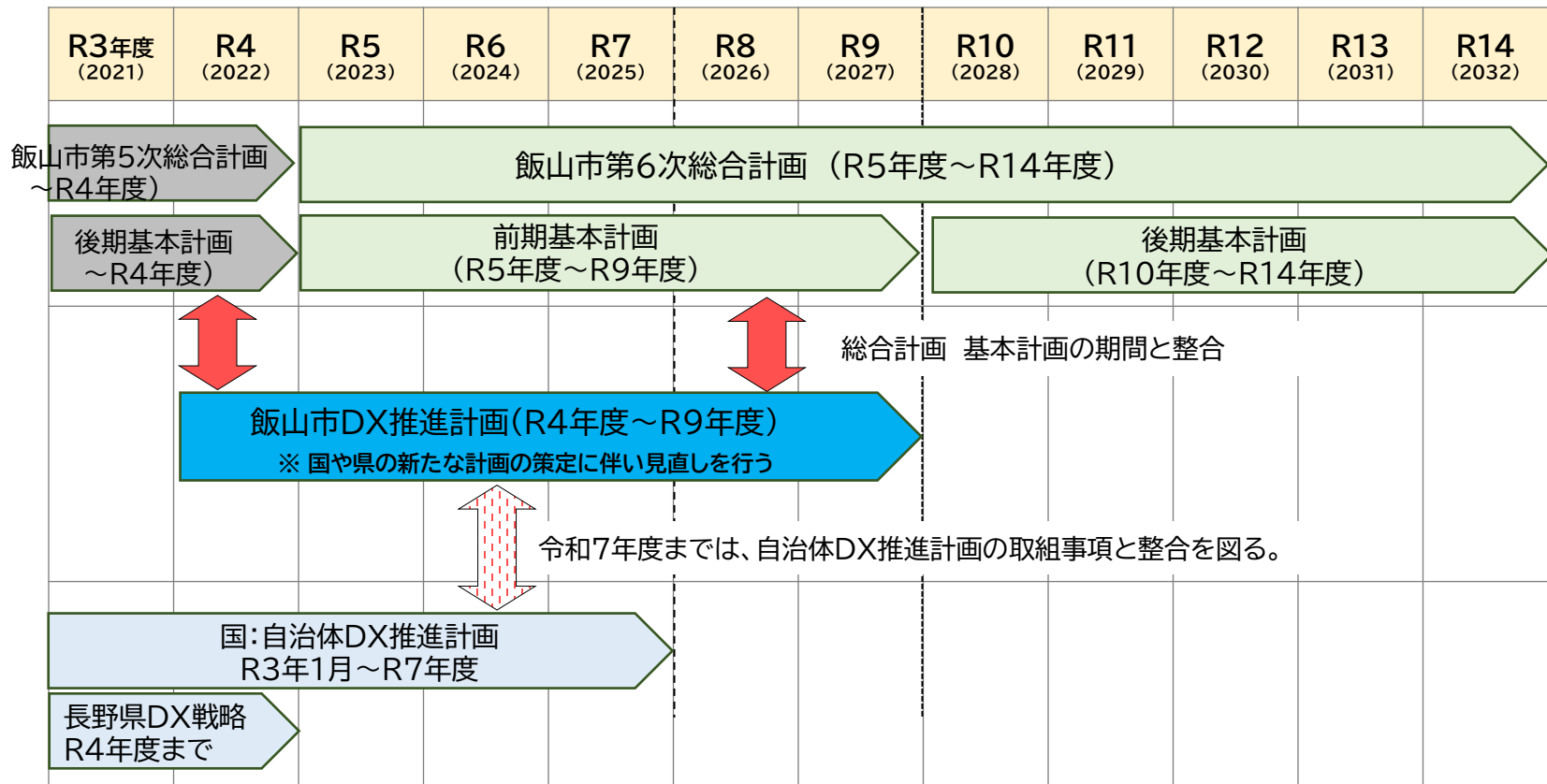
○官民データ活用推進計画について

・官民データ活用推進基本法(平成28年法律第103号)第9条の規定による「市町村官民データ活用推進計画」を当計画に位置付けます。
※市町村官民データ活用推進計画へ盛り込む項目は、「手続における情報通信の技術の利用等に係る取組」、「官民データの容易な利用等に係る取組」、「個人番号カードの普及及び活用に係る取組」、「利用の機会等の格差の是正に係る取組」及び「情報システムに係る規格の整備及び互換性の確保等に係る取組」を基本的な方針として、適宜掲載 (市町村官民データ活用推進計画策定の手引より)

2-2 本計画の対象期間

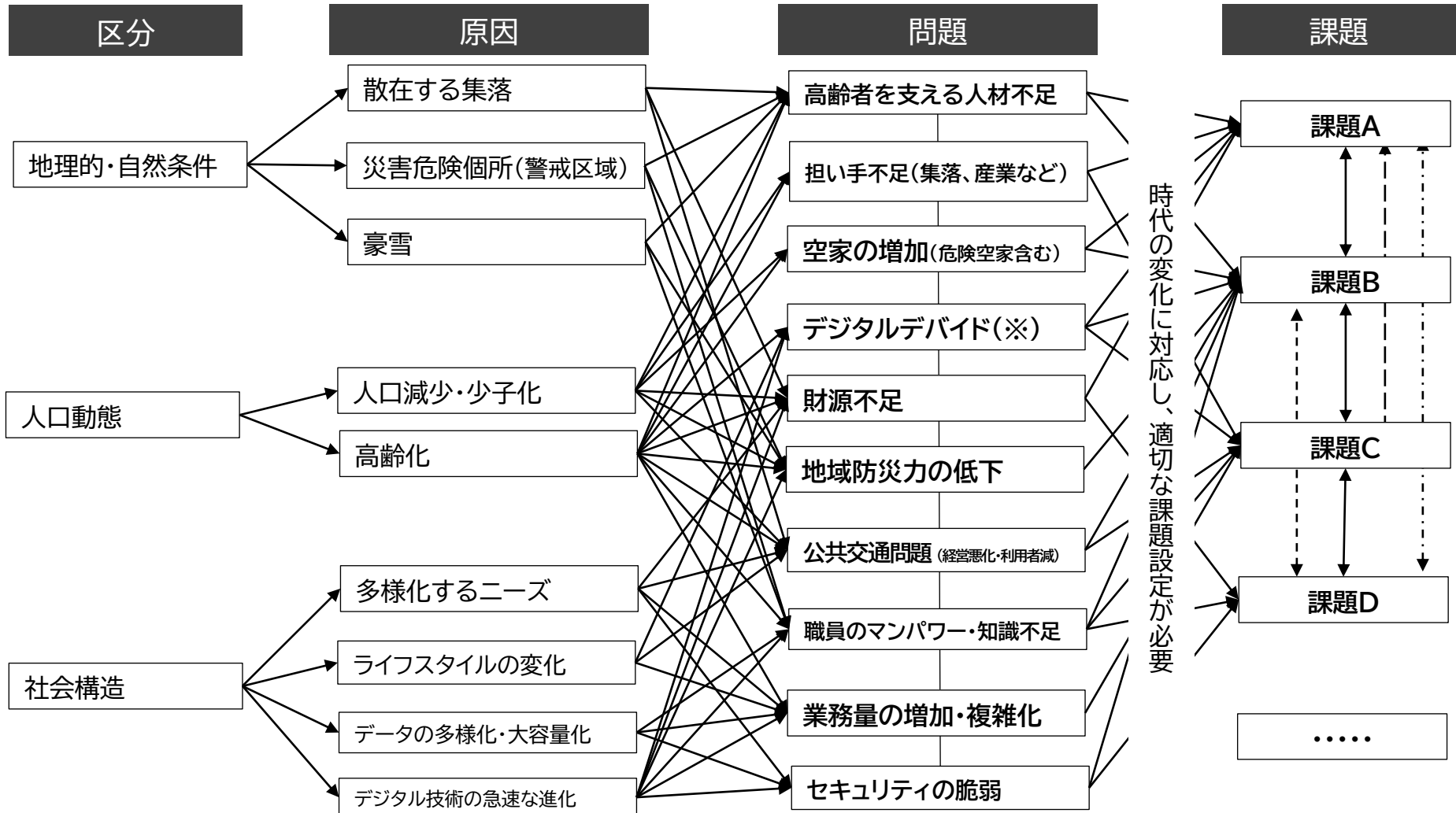
飯山市DX推進計画の対象期間は、飯山市第6次総合計画前期基本計画の計画期間と、また取組内容は国の自治体DX推進計画と整合を図る。

なお、国の計画や長野県の戦略の変更等を踏まえ、適宜見直しを図ることとする。



2-3 本市が抱える問題の整理と課題の設定

市が抱える多くの問題は、様々な原因が複雑に絡み合うように発生している。
問題を解決する課題の設定や解決手法は全体像を捉えて検討する必要がある。



(※)デジタルデバイドとはインターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと

2-4 本市の基盤整備の状況

これまで市や地域が実施してきた基盤整備の状況は以下のとおりである。

庁内ネットワーク	
LGWAN系ネットワーク	総合行政ネットワーク(Local Government Wide Area Network) 地方公共団体の組織内ネットワーク(以下「庁内LAN」という。)を相互に接続し、地方公共団体間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図ることを目的とする、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク
ファイル共有システム	
グループウェア	
GIS(地理情報システム)	
基幹系ネットワーク	
各種住民データ	住民基本台帳をはじめとした住民データ
データ管理システム	各種住民データを管理するシステム
地域ネットワーク	
ケーブルテレビ網	市内全域に敷設。基幹線は光ケーブル。
フリーWi-Fi	観光スポットや公共施設を中心に無料のアクセスポイントを設置
デジタル防災無線	全戸および公共施設へ設置
メール配信システム	メールアドレス登録者へ防災情報などをに配信
地域(互助・共助)	
集落・各種団体	
自主防災組織	地域の自主防災を目的として結成された団体
除雪支援隊・協力隊	各区内において、高齢者等の世帯に対し、有償で除雪を行う団体
民生児童委員	地域住民から社会福祉に関する相談を受け支援を行う団体
まちづくり団体	特定非営利活動法人、任意のまちづくり団体など、まちづくりを主な目的として活動している団体

第3章 計画の基本方針

3-1 飯山市DX、飯山市DX推進計画とは

「飯山市DX」を推進するため、「飯山市DX推進計画」を策定します。

○飯山市DX

市民や来訪者一人ひとりが豊かさを実感できるまちを実現するために、デジタル技術やデータを活用し、

- ① 市民や来訪者など飯山市に関わる全ての関係者の利便性を向上させる、
- ② 市役所業務のスマート化(※)を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげる、
- ③ ①、②に必要な基盤整備や構築を行う、

これらを進め、市の課題解決と災害予測や対策、暮らしに役立つ仕組みを構築する。

(※)市役所業務のスマート化とは、AIやRPA及びICT等のデジタル技術を駆使し、業務全体を効率化・自動化すること。

基本方針

○飯山市DX推進計画

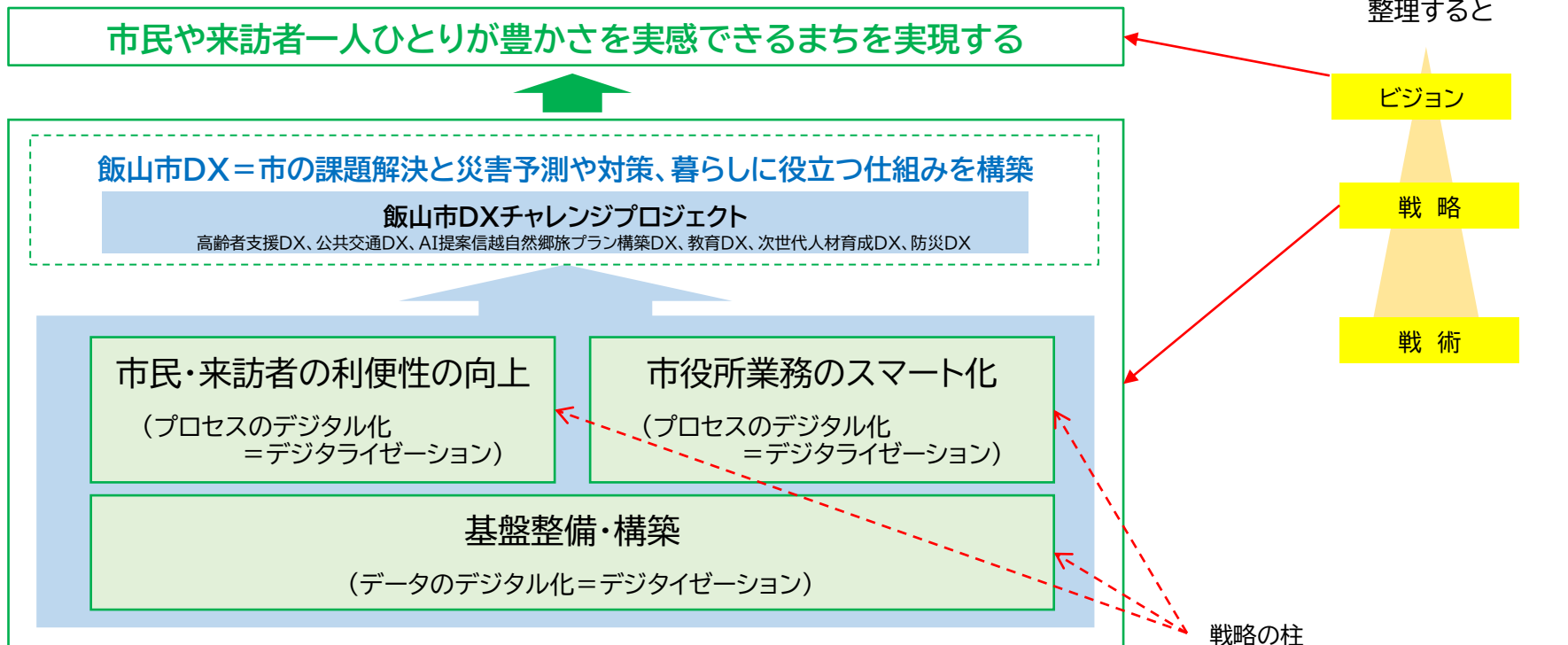
①～③を体系的に整理し、取組事項やその手順など、どのように進めていくかを明文化したものの。

3-2 基本方針

飯山市のDXは、市民や来訪者一人ひとりが豊かさを実感できるまちを実現するために、デジタル技術やデータを活用し、市民・来訪者の利便性の向上、市役所業務のスマート化、それに必要な基盤整備・構築を進め、市の課題解決と災害予測や対策、暮らしに役立つ仕組みを構築する。

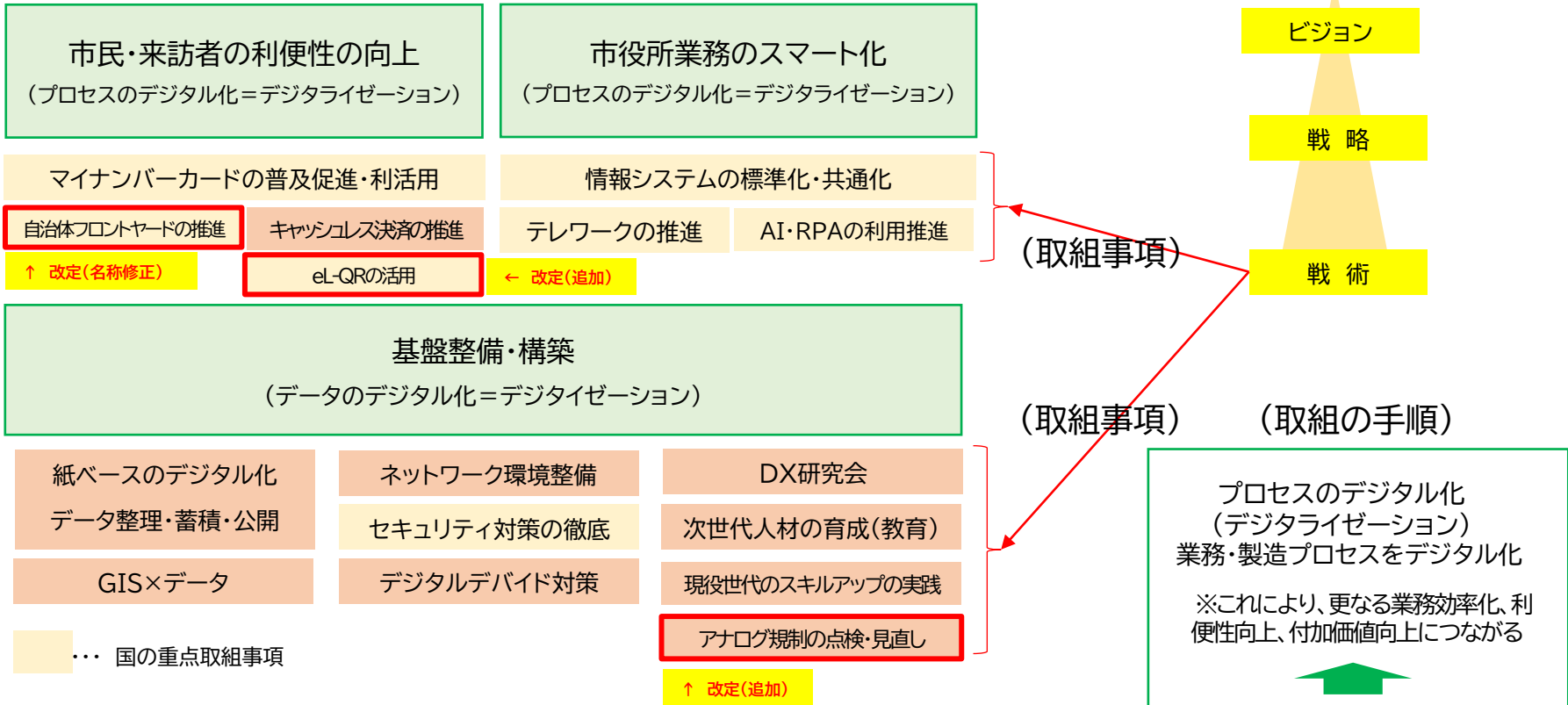
以下に、基本方針を体系的に整理する。

(体系的に整理)



3-2 基本方針

各戦略の取組事項と取組の手順は以下のとおり。



【補足】用語

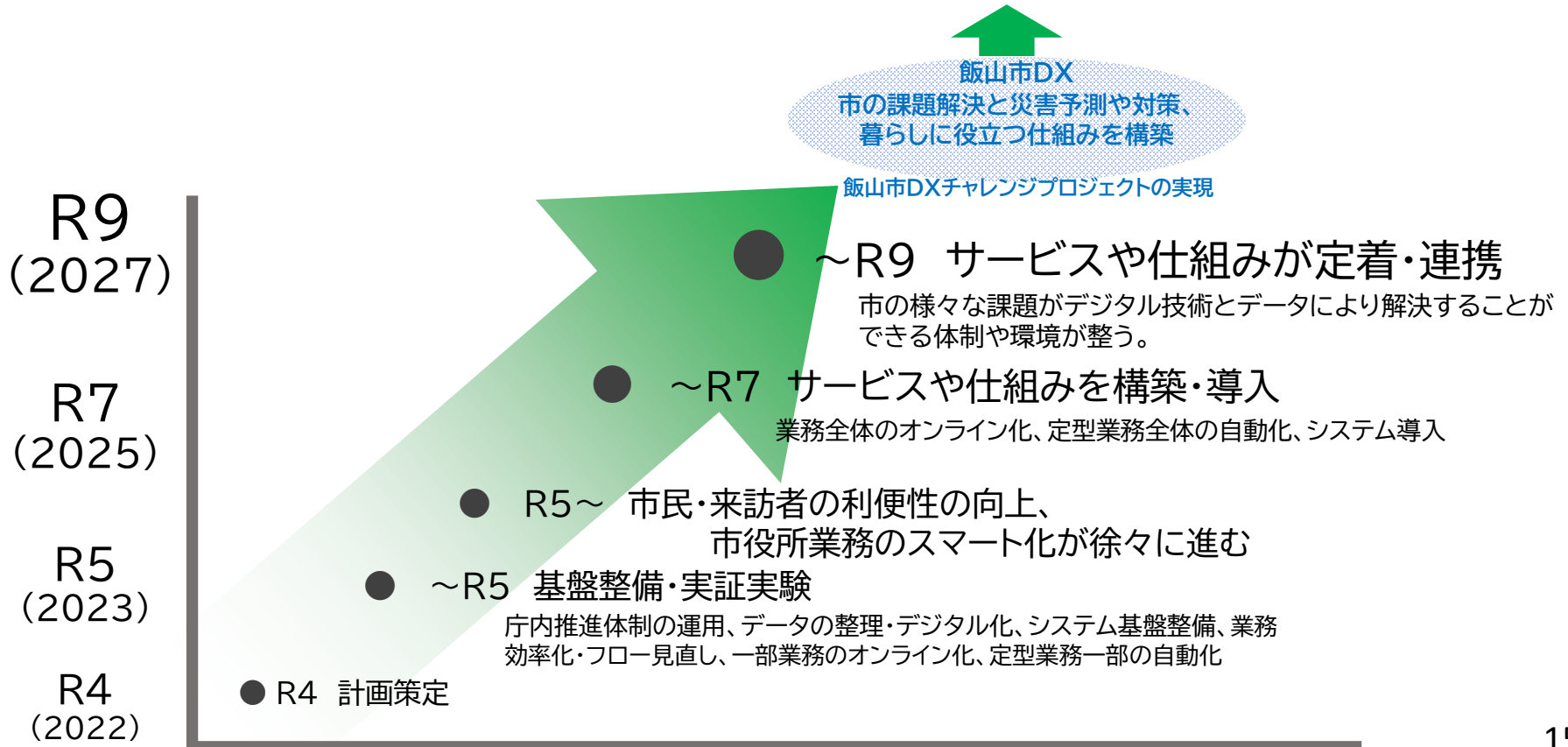
- ・デジタイゼーション (Digitization)
既存の紙のプロセスを自動化するなど、物質的な情報をデジタル形式に変換すること
 - ・デジタルライゼーション(Digitalization)
組織のビジネスモデル全体を一新し、クライアントやパートナーに対してサービスを提供するより良い方法を構築すること
 - ・デジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation)
デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取組を指す概念
- (総務省ホームページ引用)

3-3 ロードマップ

飯山市DXのロードマップは以下のとおり。

策定から2年間は概ねデータのデジタル化(デジタイゼーション)とプロセスのデジタル化(デジタイゼーション)などのサービスや仕組みを構築するための基盤整備や実証実験を行い、令和7年度までにその構築・導入を始める。計画目標年度の令和9年度には、それらが互いに連携しながら定着するとともに、様々な課題がデジタル技術やデータを活用し解決できる体制や環境を整える。

市民や来訪者一人ひとりが豊かさを実感できるまちを実現する



第4章 取組事項

4-1 自治体DX推進計画における重点取組事項

国が定めた自治体DX推進計画(令和2年12月25日閣議決定)における自治体が行き組むべき重点取組事項は以下のとおりである。

①自治体の情報システムの標準化・共通化

目標時期を2025年度とし、「(仮称)Gov-Cloud」の活用に向けた検討を踏まえ、基幹系17業務システムについて国の策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行

②マイナンバーカードの普及促進

2022年度末までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを目指し、交付円滑化計画に基づき、申請を促進するとともに交付体制を充実

③自治体フロントヤードの推進 改定 ⇒ 「自治体の行政手続きのオンライン化」を修正

窓口業務のデジタル化に留まらず、住民との多様な接点や業務全体の効率化を図り、業務プロセスの見直しと一体的な改革を行い、住民の利便性向上と職員の業務効率化を両立し、持続可能で質の高い行政サービスを提供

④自治体のAI・RPA の利用推進

①、③による業務見直し等を契機に、AI・RPA導入ガイドブックを参考に、AIやRPAを導入・活用を推進

⑤テレワークの推進

テレワーク導入事例やセキュリティポリシーガイドライン等を参考に、テレワークの導入・活用を推進

①、③による業務見直し等に合わせ、対象業務を拡大

⑥セキュリティ対策の徹底

改定セキュリティポリシーガイドラインを踏まえ、適切にセキュリティポリシーの見直しを行い、セキュリティ対策を徹底

⑦公金収納におけるeL-QRの活用 改定 ⇒ 新規追加

「eL-QR」を活用し、公金の電子納付を可能にし、住民や事業者の利便性向上及び業務効率化を図る。

4-2 市の取組事項

各戦略の柱に掲げた取組事項は以下のとおり。
 なお、各取組の詳細は、別冊「4-2 市の取組事項 詳細」を参照

1 市民・来訪者の利便性の向上

- (1) マイナンバーカードの普及促進・利活用（国の重点取組事項に即した取組）
- (2) 自治体フロントヤードの推進（国の重点取組事項に即した取組） 改定（名称修正・取組修正）
- (3) キャッシュレス決済の推進
- (4) eL-QRの活用（国の重点取組事項に即した取組） 改定（追加）

2 市役所業務のスマート化

- (1) 情報システム標準化・共通化（国の重点取組事項に即した取組）
- (2) テレワークの推進（国の重点取組事項に即した取組）
- (3) AI・RPAの利用推進（国の重点取組事項に即した取組）

3 基盤整備・構築

- (1) 紙ベースのデジタル化、データの整理・蓄積・公開
- (2) GIS×データ 改定（取組修正）
- (3) ネットワーク環境整備
- (4) セキュリティ対策の徹底（国の重点取組事項に即した取組）
- (5) デジタルデバイド対策
- (6) DX研究会
- (7) 次世代人材の育成(教育)
- (8) 現役世代のスキルアップの実践 改定（取組修正）
- (9) アナログ規制の点検・見直し 改定（追加）

各取組の詳細は、別冊「4-2
市の取組事項 詳細」を参照

上記のほか、各課等が抱える課題を解決するための手段にデジタル技術の積極的な活用を図る。
 なお、デジタル技術の活用、導入に関する検討などは第6章「推進体制」に基づく。

第5章 飯山市DXチャレンジプロジェクト

5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト

計画期間内に実現を目指すサービスや仕組みを「飯山市DXチャレンジプロジェクト」として位置づけ、具現化に向けて取り組む。

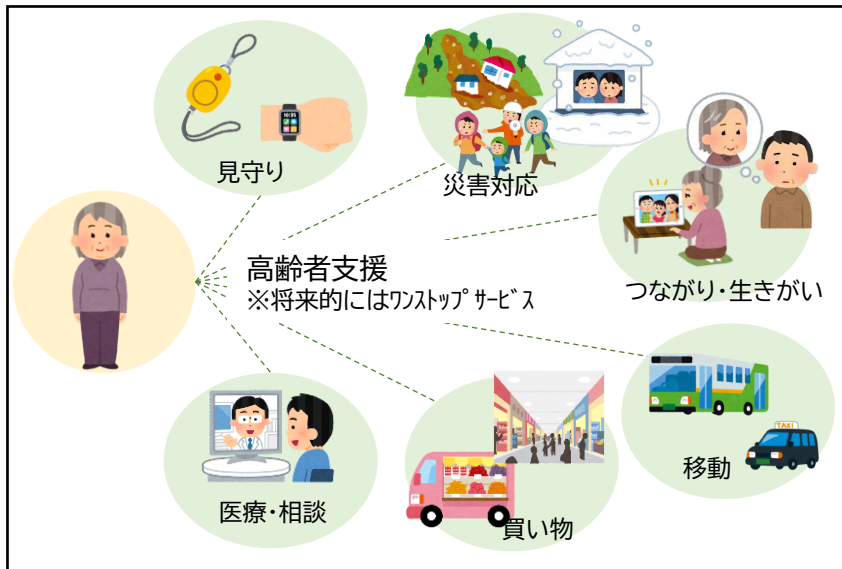
高齢者支援DXプロジェクト

身体状況、家族構成、地域などで異なるニーズを把握

【主管課：事業戦略課、地域包括支援センター、危機管理防災課、企画財政課、保健福祉課】

※イメージ

課題の設定



プロジェクト概要

○高齢者の見守り、災害対応、移動、買い物を支援する。

- ・日常の安否や緊急通報などの見守り手法と支援体制の構築
- ・災害時における一人ひとりに対する避難対応
- ・公共交通の予約方法、バス停までの移動
- ・買い物支援
- ・医療・相談体制の整備・充実

スケジュール

- 令和7年度から単独サービス運用開始
- 令和9年度からワンストップサービス



支援者
(地域・民間事業者)

支援・活用

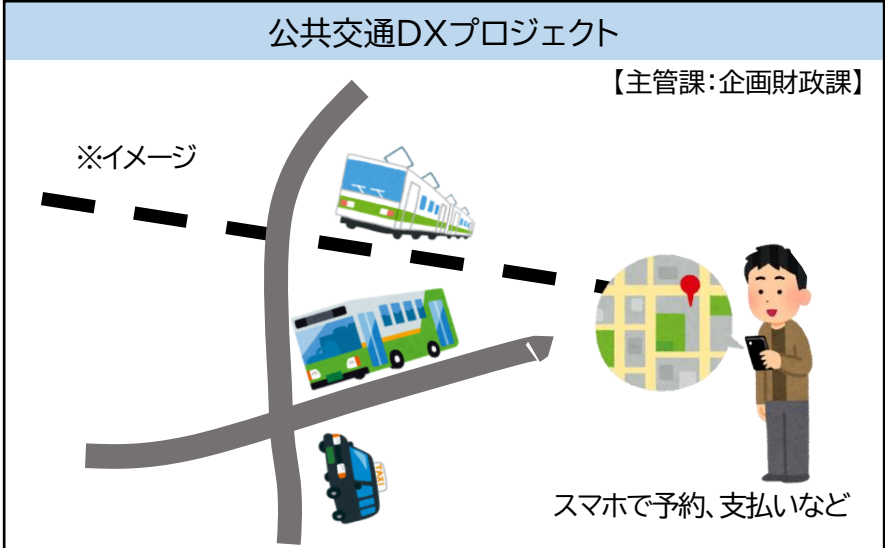


GIS×データ



デジタル技術

5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト



「AI提案信越自然郷旅プラン構築」
削除

<p>プロジェクト概要</p>	<p>○持続可能な交通システムを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・利用者の行動実態に合わせた効率的な運行(予約方法、支払方法を含む) ・飯山駅を含む中心市街地への移動に係る利便性の向上 ・自宅から停留所までの移動に係る負担の軽減 ・飯山駅を拠点とした観光誘客につながる二次交通の確保及び市内・外を結ぶ移動ネットワークの確保・維持
<p>スケジュール</p>	<p>○令和5年度から調査・研究を実施</p>

5-1 飯山市DXチャレンジプロジェクト

教育DXプロジェクト、次世代人材育成DXプロジェクト (GIGAスクール構想の推進、STEAM教育など)

【主管課:子ども育成課、公民連携推進室、市民学習支援課】

※イメージ



ICTを活用した教育プログラム



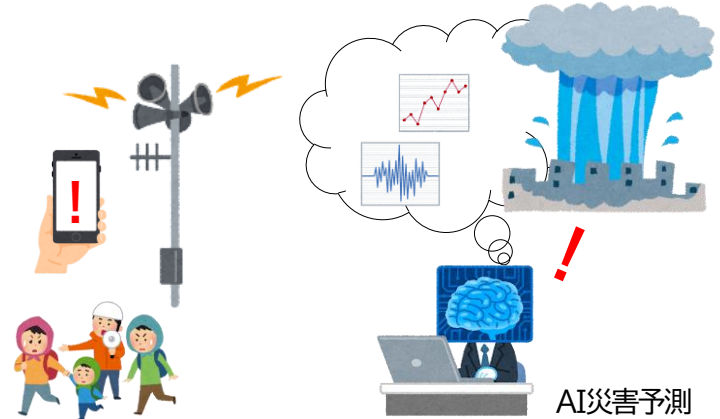
STEAM教育

<p>プロジェクト概要</p>	<p>【教育DXプロジェクト】 ○ICT機器をフル活用した学習スタイルを構築する。 ○児童・生徒一人ひとりの学習過程の蓄積と活用を図る。</p> <p>【次世代人材教育プロジェクト】 ○STEAM教育など学びの場を創出する。</p>
<p>スケジュール</p>	<p>【教育DXプロジェクト】 ○令和5年度から具体的に検討</p> <p>【次世代人材教育プロジェクト】 ○令和5年度から講座スタート</p>

防災DXプロジェクト

【主管課:危機管理防災課】

※イメージ

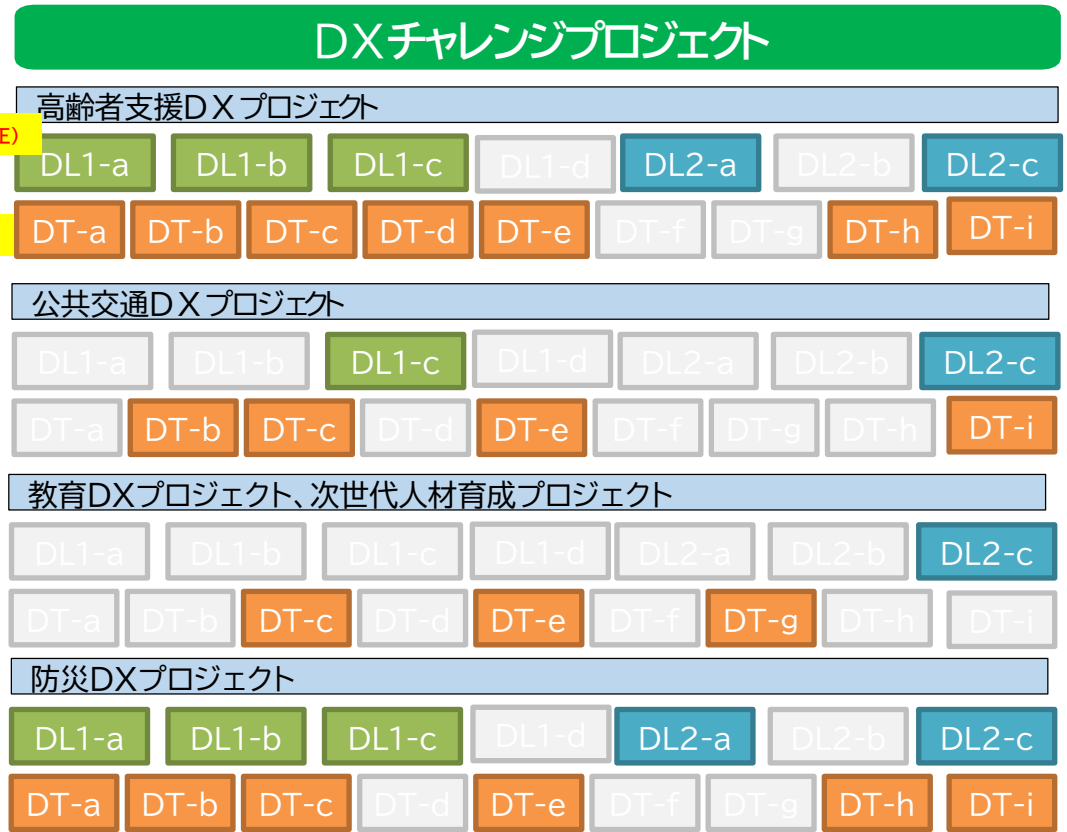


<p>プロジェクト概要</p>	<p>○頻発化、激甚化する災害へ対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における人員不足の解消(情報収集等) ・避難判断の予測(洪水、土砂災害など) ・迅速な避難情報等の伝達 ・災害状況、対応などの情報発信
<p>スケジュール</p>	<p>○令和4年度に検討・実証実験</p> <p>○令和5年度から随時導入</p>

5-2 取組事項との関連性

取組事項とDXチャレンジプロジェクトの関連性を整理し、各プロジェクトには欠かせない取組を明確にする。

DL1	市民・来訪者の利便性の向上
a	マイナンバーカードの普及促進・利活用
b	自治体フロントヤードの推進 改定(名称修正)
c	キャッシュレス決済の推進
d	eL-QRの活用 改定(追加)
DL2	市役所業務のスマート化
a	情報システムの標準化・共通化
b	テレワークの推進
c	AI・RPAの利用推進
DT	基盤整備・構築
a	紙ベースのデジタル化データ整理・蓄積・公開
b	GIS×データ
c	ネットワーク環境整備
d	セキュリティ対策の徹底
e	デジタルデバイス対策
f	DX研究会
g	次世代人材の育成(教育)
h	現役世代のスキルアップの実践
i	アナログ規制の点検・見直し 改定(追加)

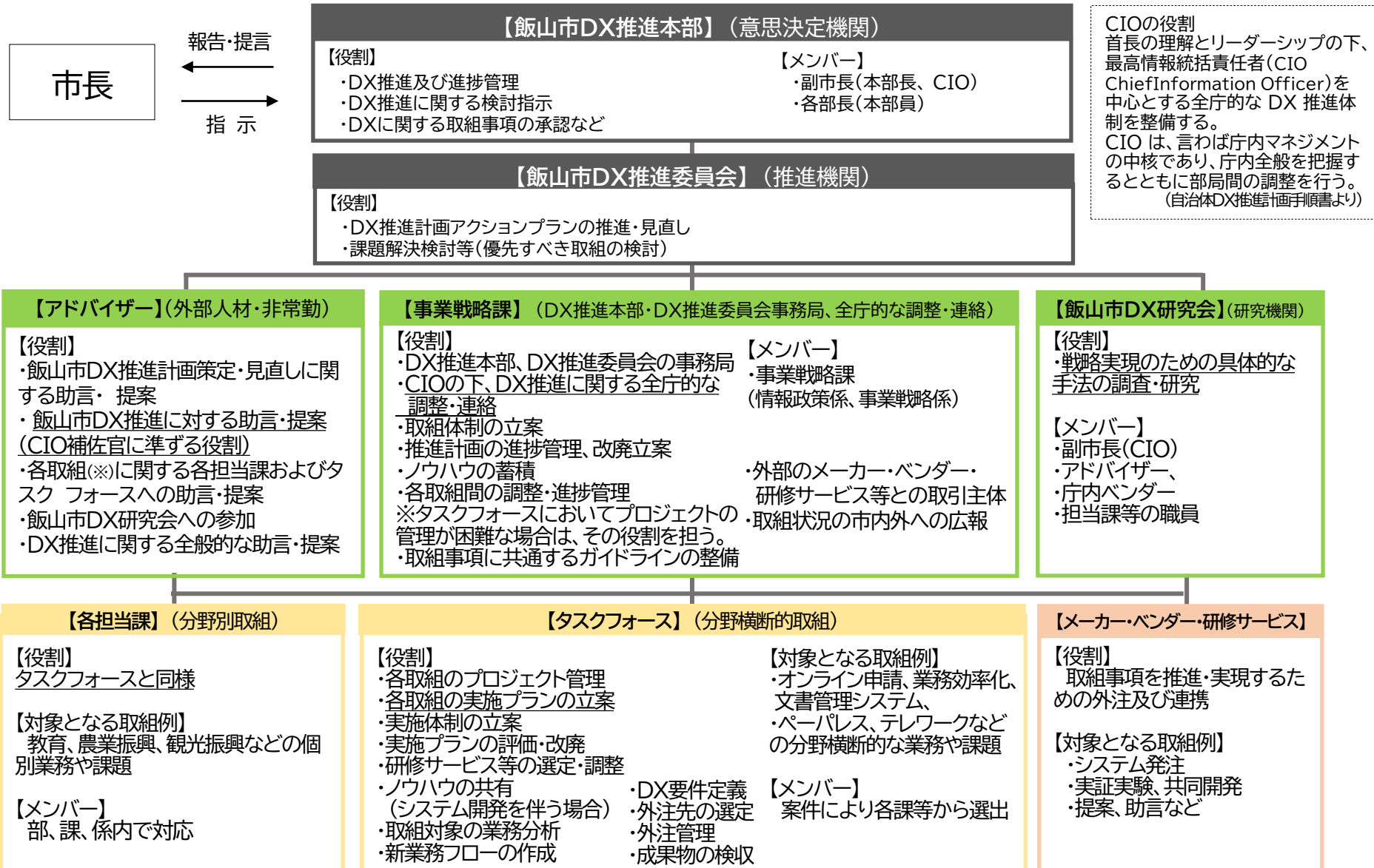


AI 提案信越自然郷旅プラン構築」を削除

※DL、DTは、それぞれ Digitalization (デジタルライゼーション)、Digitization (デジタイゼーション) の略。

第6章 推進体制

6-1 推進体制



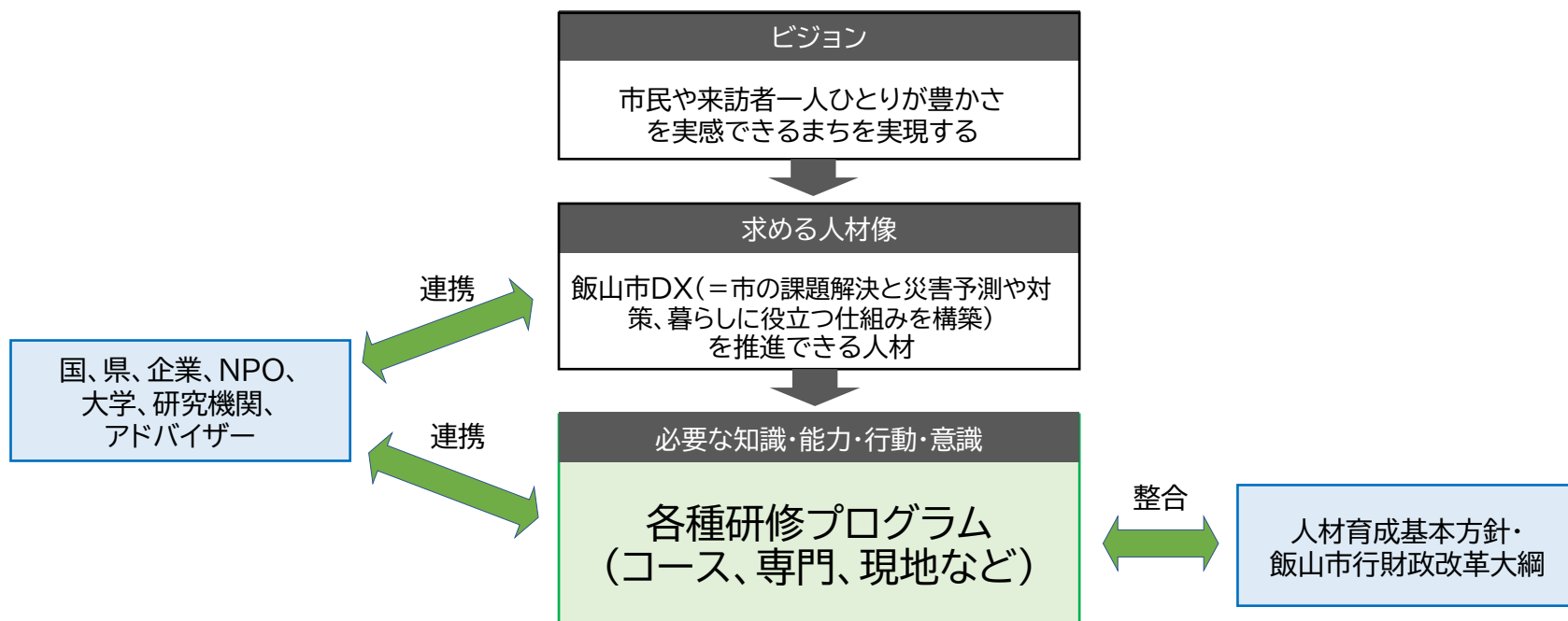
CIOの役割
 首長の理解とリーダーシップの下、最高情報統括責任者(CIO Chief Information Officer)を中心とする全庁的なDX推進体制を整備する。
 CIOは、言わば市内マネジメントの中核であり、市内全般を把握するとともに部局間の調整を行う。
 (自治体DX推進計画手順書より)

※このページの「各取組」は「飯山市チャレンジプロジェクト」を含む

6-2 デジタル人材の確保・育成

デジタル技術やデータを活用し地域課題の解決を進めることのできる職員を育成し各担当業務でDXを推進するため、デジタル人材の確保・育成に関する各種研修を実施する。

【デジタル人材の確保・育成の概要】



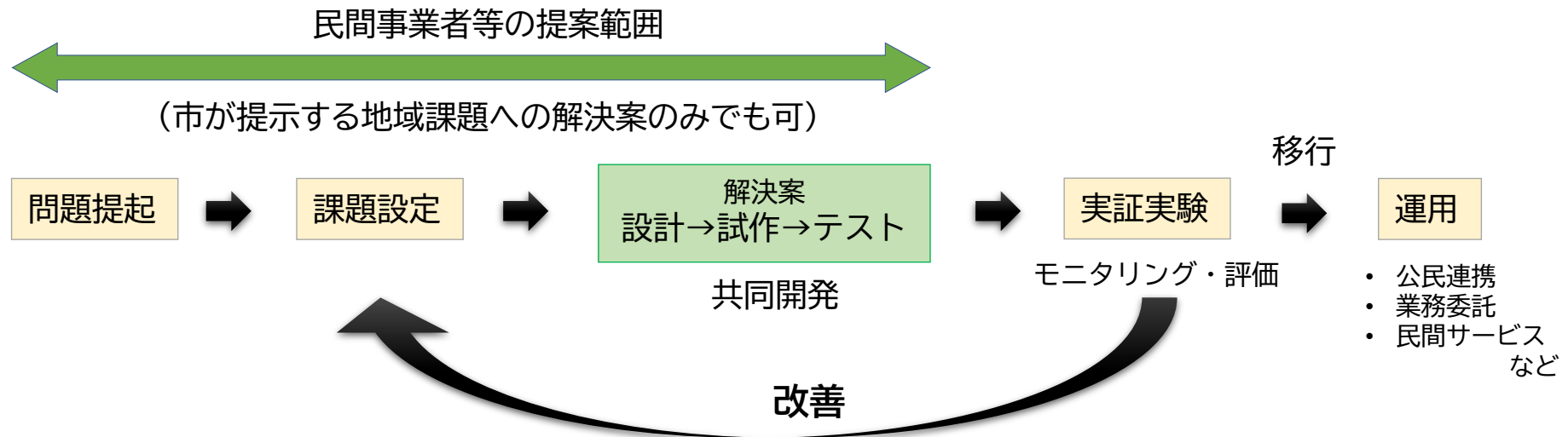
<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考	
各種研修プログラム	制度設計	実施						

6-3 民間事業者等との連携

民間事業者等から幅広く提案を募るとともに積極的に連携し、DXチャレンジプロジェクトをはじめ、様々な地域課題を解決するためのサービスや仕組みを創出・構築する。

【民間事業者等との連携のイメージ】



- (1) 提案内容は、既存サービスを活用するもの、新規システム開発を伴うもののいずれでも構わないものとする
- (2) 運用への移行が決定された提案事業者に対しては、市からインセンティブを付与する
- (3) システム開発に際しては、市と提案事業者との共同開発とする
- (4) 運用事業者との連携手法は、公民連携・業務委託・民間サービスとして実施など、プロジェクトの特性に応じて最適な手法を検討する

4-2 市の取組事項 詳細 (改定案)

構成(レイアウト)

<取組の名称> ○○○○
<取組方針> ○○○○
<現状> ○○○○
<取組とスケジュール>

【主管課 ○○課】

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
取組1		取組内容①	取組内容②		目標年度:RO年 構築		
取組2		取組内容③	取組内容④				

令和4年(2022年)10月策定
令和8年(2026年) 月改定

飯山市

4-2 市の取組事項

各戦略の柱に掲げた取組事項は以下のとおり。

1 市民・来訪者の利便性の向上

(1) マイナンバーカードの普及促進・利活用 (国の重点取組事項に即した取組)

(2) 自治体フロントヤードの推進 (国の重点取組事項に即した取組) 改定(名称修正・取組修正)

(3) キャッシュレス決済の推進

(4) eL-QRの活用 (国の重点取組事項に即した取組) 改定(追加)

2 市役所業務のスマート化

(1) 情報システム標準化・共通化 (国の重点取組事項に即した取組)

(2) テレワークの推進 (国の重点取組事項に即した取組)

(3) AI・RPAの利用推進 (国の重点取組事項に即した取組)

3 基盤整備・構築

(1) 紙ベースのデジタル化、データの整理・蓄積・公開

(2) GIS×データ 改定(取組修正)

(3) ネットワーク環境整備

(4) セキュリティ対策の徹底 (国の重点取組事項に即した取組)

(5) デジタルデバイド対策

(6) DX研究会

(7) 次世代人材の育成(教育)

(8) 現役世代のスキルアップの実践 改定(取組修正)

(9) アナログ規制の点検・見直し 改定(追加)

上記のほか、各課等が抱える課題を解決するために、積極的にデジタル技術の活用を図る。
なお、デジタル技術の検討や導入の推進体制は、第6章「推進体制」に基づく。

4-2-1 市民・来訪者の利便性の向上

(1)マイナンバーカードの普及促進・利活用 (国の重点取組事項に即した取組) 【主管課 市民環境課、事業戦略課】

ほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを目指すとともに、マイナンバーカードの利活用を図る。

<取組方針>

- ・マイナンバーカードに関する正しい知識を身につけていただくよう周知する
- ・マイナンバーカード申請手続きの簡素化、申請機会を増やす。
- ・マイナンバーカードの取得により、日常生活に利便性を感じる環境を構築する。

<現状>

- ・令和4年6月1日現在の取得率 40.4%(全国 44.7%、長野県 38.5%)
- ・申請窓口(夜間・休日)開設、申請窓口の時間延長、新型コロナウイルスのワクチン接種会場における臨時交付サービス実施

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
マイナンバーカード普及啓発	市報やイベントなどでの啓発・普及活動 (マイナンバーに関する正しい知識や誤解の解消など)						国の自治体DX推進計画では4年度末にはほぼ全ての住民にマイナンバーカードが行きわたることを目指している。
申請手続きの簡素化、申請機会の増	申請手続きの簡素化、イベント等における臨時交付場の設置			目標年度:R6末 90%以上の住民が取得			
マイナンバーカード取得による利便性の向上	新サービスの研究・実証実験 ※国や県等とも連携			新サービスの開始			

4-2-1 市民・来訪者の利便性の向上

(2)自治体フロントヤードの推進 (国の重点取組事項に即した取組)

【主管課 事業戦略課、市民環境課、
税務課、保健福祉課、子ども育成課】

窓口業務のデジタル化に留まらず、住民との多様な接点や業務全体の効率化を図り、業務プロセスの見直しと一体的な改革を行い、住民の利便性向上と職員の業務効率化を両立し、持続可能で質の高い行政サービスを提供する。

<取組方針>

- ・窓口利用数、手続き件数、所要時間などの現状を把握し、課題を抽出する。
- ・BPR(業務フローなどを見直し、業務改革を行うこと)の検討を進め、対象となる取り組み・手続きを選定する。
- ・現状分析と対象手続きに基づき、導入するシステムを選定する。

<現状>

- ・窓口対応は、各課の窓口、または市民環境課窓口で各課の担当職員が行っている。
- ・住民は手続きごとに申請書を手書きで作成している。
- ・転入・転出以外の手続きでは、電子申請の利用が少ない。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
検討チーム設置					●検討チーム設置		電子申請の促進及びデジタルデバインド対策を実施しなら推進す。推進検討
現状分析・BPR					➡		
方針・手続選定					●方針策定 ●手続選定		
システム構築					システム構築	●システム選定 ●運用開始	



自治体フロントヤード改革の目指す姿(コンセプト)

<出典:自治体フロントヤード改革推進手順書,総務省,令和7年5月30日>

4-2-1 市民・来訪者の利便性の向上

(3) キャッシュレス決済の推進

【主管課 事業戦略課、全部局】

証明発行等に係る手数料や公共施設の使用料、各種料金の納付等の支払いについて、キャッシュレス決済を推進する。

<取組方針>

- ・各種窓口業務や公共施設などのキャッシュレス決済を推進し、市民や来訪者の利便性の向上を図る。
- ・本人確認や自治体マイナポイント事業(※)の導入など、マイナンバーカードとの連携や活用を図る。

※自治体マイナポイントとは、国が整備したマイナポイント事業の基盤を活用して、自治体が多様なポイント給付施策を実施すること。

<現状>

市税、水道料及び下水道使用料については、納付書等に印字されているバーコードを読み込むことで、スマホ決済アプリ(PayPay・LINEPay)を使って納付が可能。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考	
キャッシュレス化	研究	対象業務事業 洗い出し	導入 ※随時利用拡大					

4-2-1 市民・来訪者の利便性の向上

(4)eL-QRの活用 (国の重点取組事項に即した取組)

【主管課 会計課、事業戦略課、税務課、公金を扱う部局】

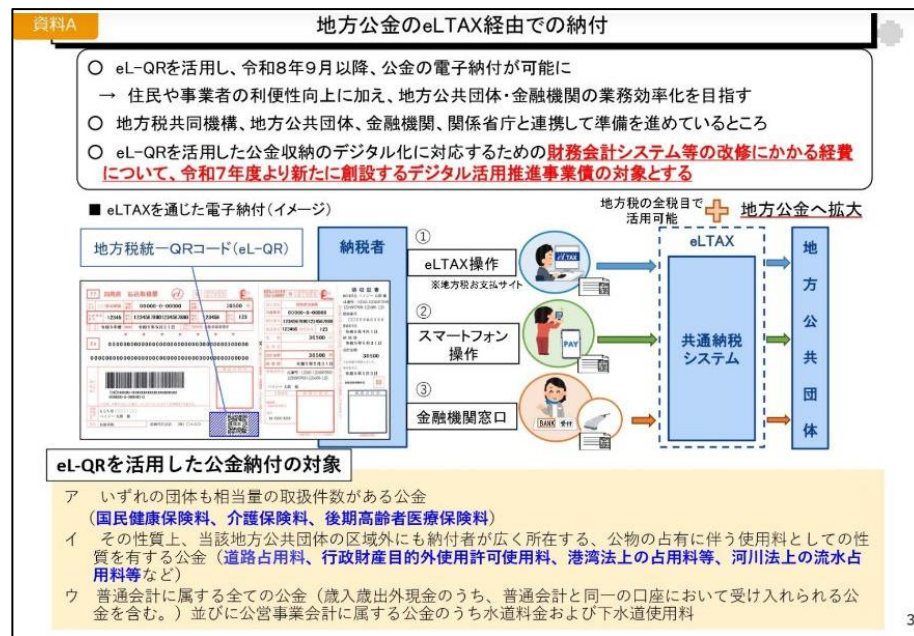
「eL-QR」を活用し、公金の電子納付を可能にし、住民や事業者の利便性向上及び業務効率化を図る。

<取組方針>

- ・対象の公金を選定する。
- ・必要なシステム改修を行う。

<現状>

- ・地方税以外は口座振替のほか、納付書にて納付を依頼している。



<取組とスケジュール>

サービスの概要 <出典:デジタル庁ホームページ>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
対象公金の選定、運用体制整備					現状把握、対象公金選定		目標年度:R9(2027)4月運用開始
システム改修					システム改修、広報	●運用開始	

4-2-2 市役所業務のスマート化

(1) 情報システムの標準化・共通化 (国の重点取組事項に即した取組) 【主管課 事業戦略課、全部局(基幹系17業務担当課)】

ガバメントクラウド(Gov-Cloud)(※)の利用を見据え、基幹系システムの標準化・共通化を図る。

※ガバメントクラウドとは、政府がデジタル化を進める上で活用するためのITプラットフォーム環境。デジタル化の推進にはクラウドの利用が大前提となっており、全ての情報を一元的に管理・運用するためのもの。

クラウド化によるシステムの共同利用により、システム構築と運用の自動化によりインフラコストの削減が見込めるほか、法令や制度の改正による対応において、各種の負担軽減が期待できる。

<取組方針>

・国の自治体DX推進計画に掲げられた基幹系17業務のガバメントクラウドの利用を目指し、基幹系システムの改修を行う。

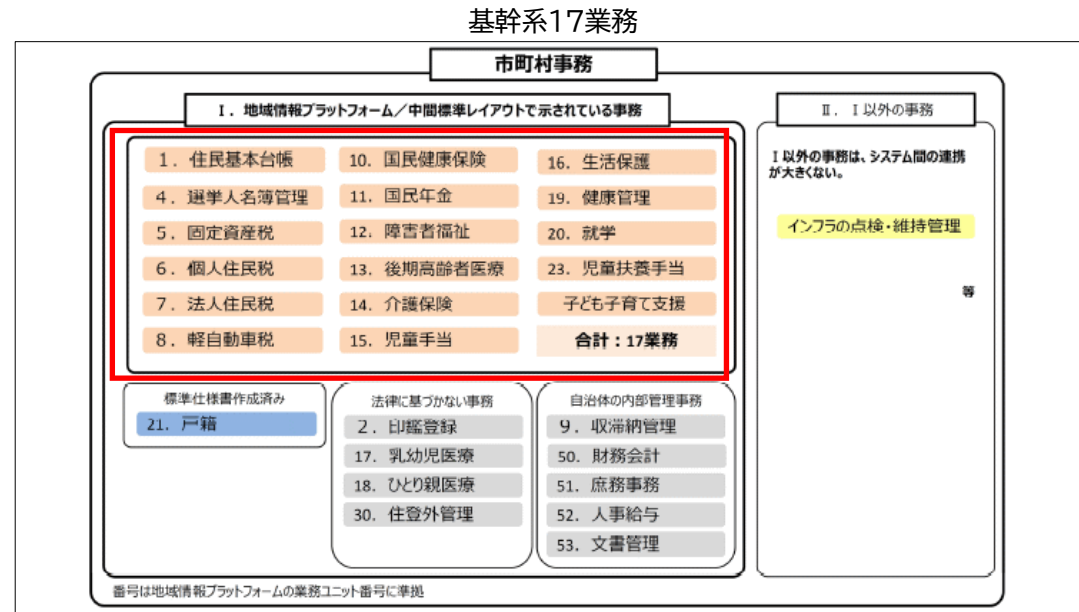
・国や県及び県内市町村の状況を踏まえ、他の業務におけるガバメントクラウドの利用を検討する。

<現状>

基幹系業務においては、法令改正などにより、随時システム改修などの負担が生じるほか、独自仕様にも対応が必要である。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
基幹系システムの標準化・共通化		基幹系システムの改修					国の自治体DX推進計画におけるガバメントクラウドの利用はR7を目標としている。
ガバメントクラウドの利用		研究		目標年度:R6中 ガバメントクラウドの利用開始	ガバメントクラウドの利用		



<出典: 地方自治体によるガバメントクラウドの活用について(案), 内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室, 令和3年6月>

4-2-2 市役所業務のスマート化

(2)テレワークの推進 (国の重点取組事項に即した取組)

【主管課 事業戦略課、総務課】

非常時における業務継続の観点に加え、ワークライフバランスの観点からテレワークを推進する。

<取組方針>

テレワークの導入に伴う検討事項を整理・実施手順を定め導入する。

<現状>

テレワーク環境は一部整備済みであるが、対象業務や勤怠管理などが未検討であり運用までは至っていない。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
環境整備の見直し(ハード面)	研究	ハード整備 (研究結果による)					
テレワークの導入(ソフト面)	制度拡充、対象業務の検討		導入				
		試験導入	目標年度:R6から導入				

4-2-2 市役所業務のスマート化

(3) AI・RPAの利用推進 (国の重点取組事項に即した取組)

【主管課 事業戦略課、全部局】

国の作成するAI・RPA 導入ガイドブックを参考に、AI やRPA の導入・活用を進める。

<取組方針>

- ・国の作成するAI・RPA 導入ガイドブックを参考に、AI やRPA の導入・活用を進める。
- ・長野県先端技術活用推進協議会が運営する自治体DX推進GWへ参画し市町村共同利用を研究する。

<現状>

RPA活用に関する実証実験を基幹系業務を中心に実施する予定(R4)。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
業務フロー見直し	業務プロセスの見える化						
AI・RPAの導入	課題の洗い出し、研究						
	試験導入						
	AI・RPAなど効率化実施(随時)						

4-2-3 基盤整備・構築

(1)紙ベースのデジタル化、データの整理・蓄積・公開

【主管課 総務課、事業戦略課、全部局】

紙ベースで行っている業務をデジタル化し、人員と時間の効率化を図るほか、データ活用に向けて保有データを整理し蓄積する。また、官民データ活用推進基本法(平成28年法律第103号)第9条の規定による「市町村官民データ活用推進計画」に基づき、データの公開を進める。

<取組方針>

- ・庁内業務において、紙ベースでの事務処理をデジタル化へ移行する。
- ・社会の変化に柔軟に対応できる拡張性の高いデータ基盤を構築するために、保有データの整理(収集・統合・加工処理)を行い、蓄積するとともに、利活用が可能なデータ形式で公開する。

<現状>

- ・各課等における通知・照会や会議資料は紙ベースとデジタル化が混在している。また、会議資料においては、一部ペーパーレス化となっているが、大半は紙ベースである。
- ・保有データの整理や蓄積などは各課等の独自のルールにより、庁内の統一した基準はない。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考	
紙ベースのデジタル化	紙ベースのデジタル化に関する検討		運用開始・随時拡充					
	ペーパーレス会議の部分導入		ペーパーレス会議の徹底		目標年度:R6から実施			
	マイクシステムの導入							
データの整理、蓄積・公開	方針検討	整理・蓄積		目標年度:R5までに整理				
	公開データ検討		データ公開開始					

4-2-3 基盤整備・構築

(2) GIS×データ

【主管課 事業戦略課、全部局】

GIS(Geographic Information System:地理情報システム)を活用し、地域分析や課題解決を図るほか、市が保有する情報を公開して「誰でも、いつでも、どこでも」必要な情報を簡単に利用できる環境を整備することで、災害時の緊急情報を含む防災情報などを地図上で統合的に提供し、利便性の向上や災害対応の迅速化を図りながら市民サービスの向上を目指す。

<取組方針>

- ・利便性の高い新たなGISの構築する。
- ・市が保有する様々な情報を取り込み、データのオープン化を図る。

<現状>

- ・各課等で必要なデータは取り込んであるが、利便性の問題から更新されていないとともに、公開が進んでいない。
- ・災害情報のリアルタイムで情報発信するなど新たなニーズがある。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
GIS操作研修 (利便性を把握)	操作研修						
GISを用いた地域分析・課題解決	運用に関する研究	データ取込(随時)	公開(随時拡充)				
新たなGISの構築					●新たなGIS整備・構築	●サービス提供開始	
データ取込・公開						随時データ構築・公開	

4-2-3 基盤整備・構築

(3) ネットワーク環境整備

【主管課 事業戦略課、総務課】

飯山市DXの実現に必要なネットワーク環境を構築します。(庁内ネットワーク、地域ネットワーク)

<取組方針>

- ・(庁内ネットワーク)フリーアドレス制の導入など働き方の改革を踏まえた庁内ネットワーク環境整備を検討します。
- ・(地域ネットワーク)地域内をカバーする通信インフラとして光ファイバの整備を進めます。
- ・(地域ネットワーク)Wi-Fiの利用可能なスポットを拡充します。

<現状>

- ・(庁内ネットワーク)デスクに据え付け型のPCで原則持ち出しは不可。Web会議には専用のPCを利用。
- ・(地域ネットワーク)公共施設へのWi-Fi整備は完了している。
- ・(地域ネットワーク)ケーブルテレビ網において、幹線(光ファイバ)及び支線(同軸ケーブル)ともに老朽化が著しい。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
(庁内ネットワーク) 働き方改革を 踏まえた環境整 備の検討		課題の整理		庁内ネットワーク環境整備			
(地域ネットワーク) 光ファイバ整 備検討		研究(手法・財源等)					
(地域ネットワーク) 市内のWi-Fi環 境整備		必要箇所検討		設置			

注: (参考)テレワークの推進
 (参考)テレワークの推進) テレワーク導入

4-2-3 基盤整備・構築

(4)セキュリティ対策の徹底

【主管課 事業戦略課】

改定セキュリティポリシーガイドラインを踏まえ、適切にセキュリティポリシーの見直しを行い、セキュリティ対策を徹底する。

<取組方針>

情報系、基幹系におけるネットワーク構成やGov-Cloudの利用など今後の展望を見据え、脆弱性を評価した上で必要な対策を行う。

<現状>

飯山市セキュリティポリシーに基づいたセキュリティ対策を実施している。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
適切なセキュリティ対策の徹底		研究	脆弱性の評価	対策の実施	(参考 Gov-Cloudの利用)		

4-2-3 基盤整備・構築

(5) デジタルデバイド対策

【主管課 事業戦略課、市民学習支援課】

「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」を目指し、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できる地域づくりを進めます。

<取組方針>

まずは、スマートフォンなどの基礎的な使い方に慣れていただくなど、最初の一步のハードルを下げつつ、高齢者等が身近な場所で相談や学習を行える講習会や講座を開催する。

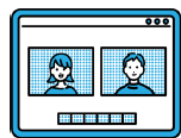
<現状>

生涯学習の一環としてパソコン教室などの講座を実施している。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
デジタルデバイス対策	研究	(参考) 行政手続きのオンライン化	地域人財を育成 ※企業、NPO、ITベンダー等と連携	講習会・講座の開催 ※企業、NPO、ITベンダー等と連携			

まずはスマホの電源の入れ方から、ゆくゆくはこんなことが誰でも当たり前に行える社会を目指して――



離れた家族と
コミュニケーション



消費活性化対策
の享受



分からないことを
調べる



オンライン手続き



キャッシュレス決済
が普通に使える

<出典:利用者向けデジタル活用支援推進事業勉強会,
長野県先端技術活用推進協議会,令和4年4月18日>

4-2-3 基盤整備・構築

(6) DX研究会

【主管課 事業戦略課】

DX化事業の検討において、実現性や手法などの研究を行う。

<取組方針>

飯山市DXを目指し、課題の抽出や現状・プロセス等を分析し、実現性やその手法などを踏まえDX化が見込める事業を検討する。なお、事業化に向けた具体的な取組やシステム開発及び体制整備は各課や横断組織で実施する。

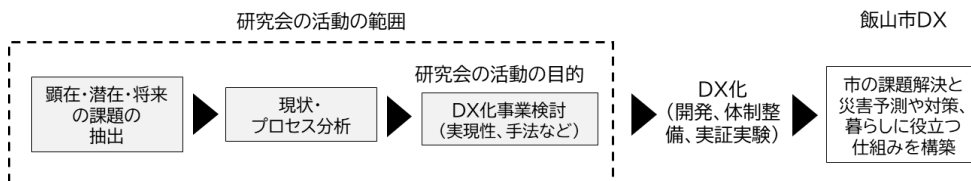
<現状>

R3に設置し、課題の分析等、研究を行っている。

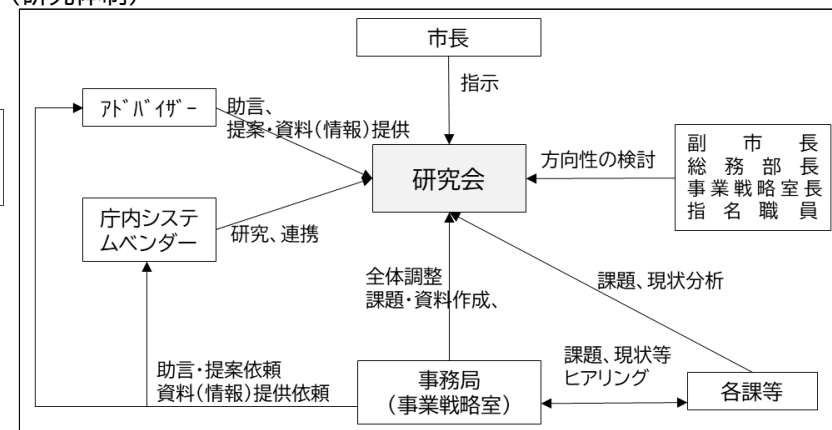
<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
研究活動	研究						

(活動の目的と範囲)



(研究体制)



4-2-3 基盤整備・構築

(7)次世代人材の育成(教育)

【主管課 子ども育成課、公民連携推進室、市民学習支援課】

教育DXを推進するとともに、Society5.0で求められる幅広い分野で新しい価値を提供できる人材を養成する。

(※)教育DX・・・

学校が、デジタル技術を活用して、カリキュラムや学習のあり方を革新するとともに、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立すること。

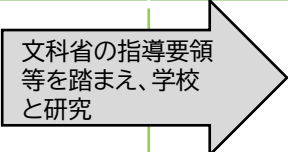

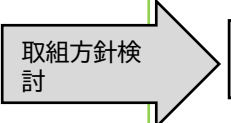
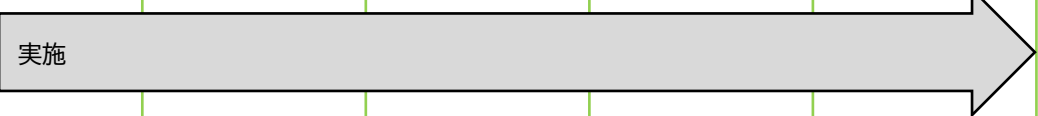
<取組方針>

- ・GIGAスクール構想を推進し、個別最適な学習の実現など、環境整備から利活用促進の段階へ進める。
- ・社会活動における問題を解決する力となるプログラミング的思考を身につけるための教室や講座を開催する。

<現状>

- ・小中学校で一人一台の情報端末を整備済み。学校の実情を踏まえてICT教育を進めている。
- ・企業や大学と連携し、プログラミング教室を実施。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
教育DX							
							
次世代人材の育成							

4-2-3 基盤整備・構築

(8) 現役世代のスキルアップの実践

【主管課 商工観光課、市民学習支援課】

- ・デジタル技術の恩恵を十分に受けるため、市民のスキルレベルの向上を図る。
- ・パソコンの基本操作が可能な女性を対象に、デジタルスキルの習得を通じて、個々のライフスタイルやキャリアに応じた多様な働き方を実現することを支援し、地域企業のDX化担う人材の育成、起業家を育成する。

<取組方針>

- ・生涯学習の一般としてパソコン教室などの講座や教室を開催する。
- ・デジタルスキルの習得により、女性の多様な働き方を支援し、女性雇用創出と多様な働き方を推進する。

<現状>

生涯学習の一環としてパソコン教室などの講座を実施している。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考	
講座等の開催	取組 検討	実施						
女性雇用創出 事業の検討					事業検討 受託事業者選定	事業スタート		

4-2-3 基盤整備・構築

(9)アナログ規制の点検・見直し

【主管課 全部局】

目視・対面・書面などのアナログ的な手法を前提としているルールを見直し、デジタル技術の活用への転換により、業務効率化、人手不足解消、行政・企業の利便性向上を図ります。

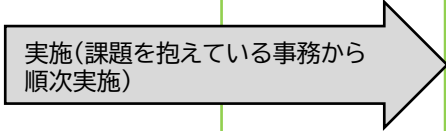
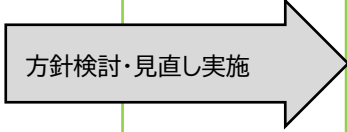
<取組方針>

- ・条例等に係るアナログ規制の洗い出し(各課における優先度を踏まえて実施)
- ・国や県の方針及び現状を踏まえ、見直しの方向性を検討し、見直しを実施(条例等の改正を行う)

<現状>

アナログ的な手法に関する規制の体系的な洗い出しが未実施であるため、見直しが必要な規定の特定や改正に向けた検討が進んでいない。結果として、アナログ規制の点検・見直しの取り組みは停滞している。

<取組とスケジュール>

取組	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	備考
アナログ規制の洗い出し					 実施(課題を抱えている事務から順次実施)		
見直し方針検討・見直し実施					 方針検討・見直し実施		